



# 困難な状況にある 女性と“学び直し”

『自立を目指す女性のための“学び直し”を通じた  
キャリア支援事業』から見える支援のかたち

(公財)せんだい男女共同参画財団

# 事業の概要

2018～2019年度の2年間、文部科学省「男女共同参画推進のための学び・キャリア形成支援事業」実証事業として、下記事業を実施しました。

## 『自立を目指す女性のための“学び直し”を通したキャリア支援事業』

### 目的

性別役割分担意識に偏らないキャリア支援と、“学び直し”を通した基礎学力の向上を目指す伴走型の学習支援を並行して実施し、学習意欲・就業意欲の向上及び自己肯定感の高揚を通して、自走する力を身に付け、生き方を選択し、何度でも自らチャレンジできる力を養うこと

### 対象者

高校中退・中卒者等、10代で十分な学びの経験を得ることができなかった以下の方

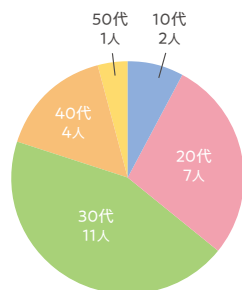
- 就業・転職を目指す母子家庭の母など
- 生きづらさ・働きづらさを感じている若年無業の未婚女性

### 内容

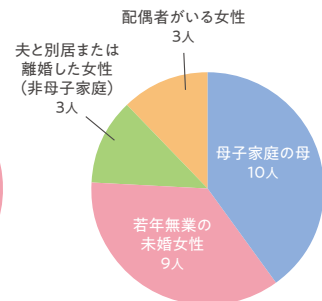
個々の状況に合わせたキャリアカウンセリングと、その目標に合わせた伴走型の個別学習支援による“学び直し”を並行して実施

## 実施状況(2018～2019年度) ※2年間の延べ数

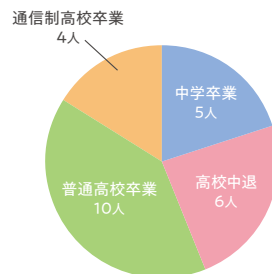
### 年代



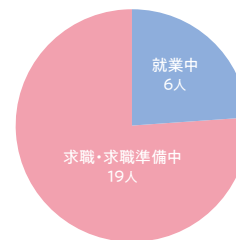
### 属性



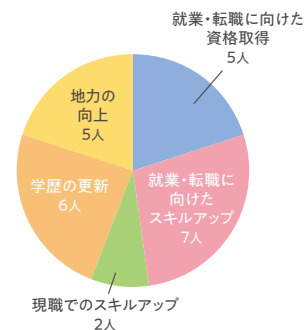
### 最終学歴



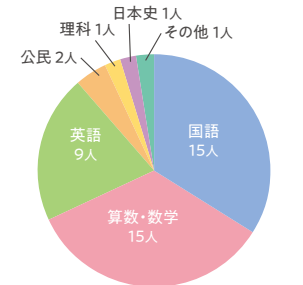
### 就業状況



### キャリア目標



### 学習科目



※その他:秘書検定  
※複数科目の学習を含む。いずれも小・中学校の内容。

## キャリア カウンセリング

- 自身の棚卸しをもとに、『これから』と一緒に考えます。
- 「女性だから」「この年齢だから」ではなく、「私だから」を大切にします。
- 参加者の困難な状況に寄り添い、その背景も含めて総合的に支援します。

- 今後のキャリア(=生き方)について、一人ひとりの状況に合わせて目標を設定
- すぐに就労できる状態ではない方は、得意なことや苦手なことを確認したり、「これから」についての不安を相談する場としました。

### 担当

仙台市母子家庭相談支援センター  
エル・ソーラ仙台 就労自立相談

## 学習カウンセリング・ 個別学習支援

- 学び方を伝え、スモールステップで成功体験を重ねながら、学ぶことの楽しさを実感できるようにします。
- 一人ひとりのレベルに合わせ、それぞれが理解しやすい学び方で進めます。

- キャリア(=生き方)の目標や希望に合わせて学習科目や学習方法を決定
- 学習の進捗状況により、学習プランを柔軟に変更
- 学習は月2回程度／1回あたり110分

### 担当

(一財)学習能力開発財団

## …安心して学べる環境…

- DVや性暴力の被害経験があることを想定し、安心して参加できるようにスタッフは**全員女性**としました。
- 希望者には**託児**を提供しました。

# 事業から見てきた女性たちの困難

## シングルマザー

- 子育て、介護、仕事など、いくつもの役割をひとりで背負っている母子家庭の母。非正規雇用から安定した仕事にキャリアアップしたくても、目の前の生活がいっぱいっぴいで自分のために使う時間がありません。

■母親自身の平均年間就労収入は200万円  
■離婚した夫から養育費を現在も受給しているシングルマザーの割合は24.3%  
※平成28年度 全国ひとり親世帯等調査より

## 若年無業のシングル女性

- いじめなどが原因で小中学校からの不登校や引きこもりを経験している人が少なくありません。
- 引きこもりの状態にあっても、社会的にも家族からも「家事手伝い」とみなされ、社会的支援からこぼれ落ちています。
- 不登校により学びの経験が他の人より少ないことを負い目に感じ、自己肯定感を低下させているケースもあります。

## 幼少期からの教育におけるジェンダー格差

- 親世代の子育てにおけるジェンダー意識が、子どもの学習機会に反映され、その後の人生においても影響を及ぼしています。
- きょうだいが多く、経済的な理由で男兄弟の進学が優先され、本人は高校に進学できなかったケース
- 弟には家庭教師をつけるなど教育熱心だったが、本人に対しては無関心だったケース

## 基礎学力の不足

- 消費税の計算、時間の計算など、基礎学力の不足自体が生きづらさや働きづらさに直結している人もいます。
- 特に「読解力」の未熟さは、文章理解だけではなく人との会話にも及ぶため、人とのコミュニケーションや、対人関係の苦手意識につながっています。

## からだや心の不調

- 虐待やDV・性暴力被害、様々な傷つきから、からだや心の不調を抱えている人も少なくありません。
- 経済的自立の方法として性風俗などを選択すると、様々なリスクにさらされやすく、更に心身の不調につながることもあります。

## 女性特有のジェンダー意識に起因する「揺らぎ」

- 『妻や母は、自分のことより家族のことを優先すべき』という女性自身に刷り込まれたジェンダー意識により、自分のキャリアや目標に向けて踏み出す時期を自分自身で決められない人もいます。
- 自分の存在価値を見出すことができず、男性に全面的に依存してしまったり、自分のからだを大切にする意識が持てないでいる人も少なくありません。

## 様々な葛藤

- 他者から期待され、自分自身もとらわれている「母役割」と、一人の人間としての「わたしがやりたいこと」との狭間の葛藤
- 自分に自信を持ち、社会とつながっているように見える同世代の女性たちと、そうではない自分との比較による落ち込み
- 長期的な目標や希望のために時間を使うことと、自立に向けてすぐに就業することとの狭間の葛藤

彼女たちの困難さの背景には、  
「自己責任」では片づけられない、社会的な課題があります。  
課題は重層的に絡みあい、彼女たちから  
ありのままの自分を認める力『自己肯定感』を奪っていきます。

## なぜ“学び直し”が必要？

### 「准看護師になりたいけれど、勉強の仕方が分からない…。」

エル・ソーラ仙台の女性相談室や母子家庭相談支援センターでは、高校中退や中卒者、未婚で出産を経験したシングルマザーに会うことも少なくありません。彼女たちはひとりで子どもを育てるために、安定した仕事に就くことを望んでいます。しかし、資格を取得したり専門学校に進みたくても、10代で十分な学習の機会が得られなかったため「学び方」が分からず、立ち止まってしまうこともあります。

### 「消費税の計算方法が分からない…。」

### 「職場での同僚とのコミュニケーションがうまくいかない…。」

### 「子どもの入学資料が難しく…。」

学力不足が生きづらさ・働きづらさに直結していることもあります。

### 「小学校から不登校。順序立てて報告するのが苦手。」

エル・ソーラ仙台で開催していた10～30代の若年無業のシングル女性対象の講座には、いじめなどが原因で不登校を経験していたり、職場でのセクハラやパワハラが原因で仕事を続けられず、引きこもりになってしまった方が多く参加しています。学習の機会が得られなかったことや人間関係での傷つきが、自信の喪失・自己肯定感の低下につながり、その後の社会参画の妨げになっている方もいます。

## “学び直し”を通したキャリア支援の効果

### 「できる」経験の積み重ねが自信につながる

できなかったこと、苦手に思っていたことができるようになると、学ぶことが楽しくなり、自信が持てるようになります。自信は『自己肯定感』の高揚につながります。

### 「学ぶ」意味を意識することがモチベーションアップにつながる

キャリア支援と学習支援を並行して行うことで、「なりたい自分」と「学び」が関連づけられます。「学ぶ」意味を意識することで学習効果が上がり、モチベーションが継続します。

### 「学び」そのものが生きる力になる

基礎学力をつけることが、消費税の計算や資料の読み込み、コミュニケーション力など、生活をする上で必要な力を養うことにつながります。

### 「学び方」を学び、自ら学習する力がつく

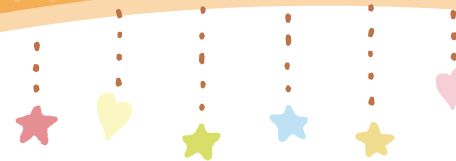
当事業への参加後も、一人ひとりの目標の達成のためには、自学する力が必要です。学び方を学習することで、自ら計画を立てて学習を進めたり、継続したりする力をつけることができます。

### 子どもの学習にも良い影響を与える

母親が勉強している姿を見て、自然と隣で宿題をするようになったり、将来のキャリアについて考えるようになるなど、子どものキャリア(=生き方)観の醸成にもつながります。

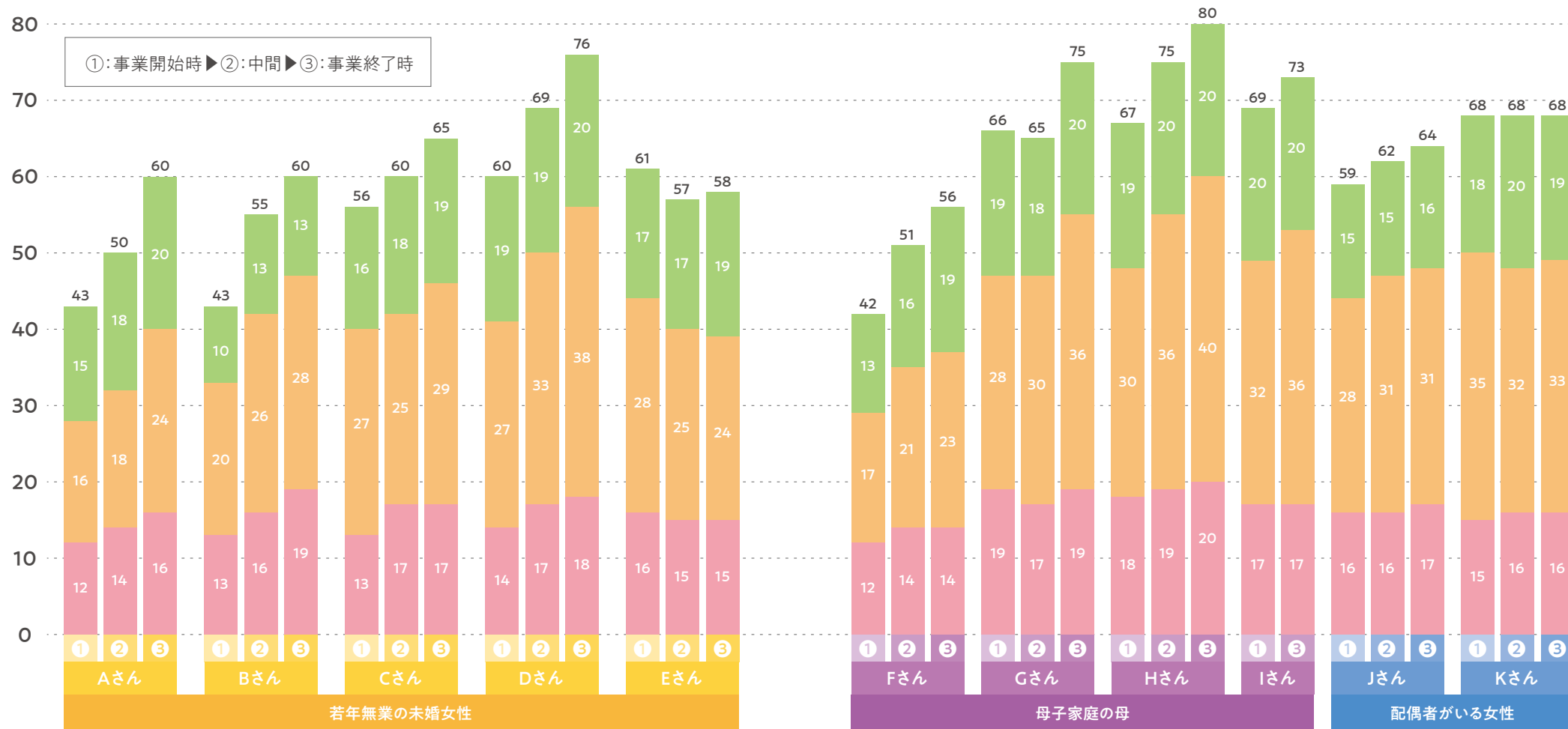
「自立」に向けて、自分のキャリア(=生き方)を自分自身で選択していくために、自己否定せず、ありのままの自分を認める力『自己肯定感』を高めることが大切です。キャリア支援者、学習支援者に加え、生活面の支援者との連携による多面的な支援がより効果をあげます。

# 2018年度参加者の学習意欲・自己肯定感等の変化



各参加者の学習意欲・自己肯定感・就業意欲が、事業を通してどのように変化するか、チェックシートを用いて数値化。学び直しにより、学習意欲・自己肯定感等が上昇する傾向が見られました。「学び」が自分のキャリア(=生き方)にどのように関わってくるのかを意識して学習を進めることができた人は、特に自己肯定感の上昇が大きいという結果になりました。

■就業意欲:20点満点  
■自己肯定感:40点満点  
■学習意欲:20点満点





## 参加者の感想

問題が解けることが楽しく、自分に自信ができました。



キャリアカウンセリングでは、自分に合った情報が得られたり、背中を押してもらうことで一歩前へ進めました。

託児を利用し、子どもと離れる時間の中で自分自身のキャリアを考えることが出来ました。

消費税の計算や、小数がどんな数字かなどが分かり、生活の中で学びを大いに生かしています。

新しいことに挑戦することに抵抗がなくなりました。「とりあえずやってみよう!」という感じです。



人がたくさんいるところで背筋を伸ばして歩くことができませんでしたが、今はできます!

### シングルマザー・Jさん(40代)

現在、6歳から12歳の娘3人を育てているシングルマザーです。准看護師を目指して、専門学校受験の準備をしています。1年ほど前から、仙台市母子家庭相談支援センターに相談に行っていたのですが、担当の方から「今度こういう支援事業が始まるよ」とお聞きして、もう即座に「お願いします」と参加を希望しました。私のために作られたような事業だなんて、本当にうれしかったです。これから3人の娘を育てていこうと考えた時、准看護師になろうと思ったのですが、正直、どうしたらいいのかわからなかったのです。

私は中卒で、長い間勉強から遠ざかっていましたから、そもそも勉強の仕方がわからなかった。それが、授業が始まると、先生が私のためにテキストを選んでくださり、1対1で教えてくださるんです。授業は月2回ですがすごく楽しくて、次の授業までの間は、宿題をしっかりとやっています。「自分はできるんだ」「自分で行動するってこういうこと」と、初めて思えました。子どもたちも応援してくれています。

### 不登校・引きこもり経験があるFさん(30代)

いじめが原因で、小学校高学年から不登校でした。義務教育すら受けていないことや、普通の人々が当たり前に行っている経験を何もしてこなかったことに、負い目や葛藤を抱えている時期が長くありました。それは社会復帰してからも続き、常に足場の不安定さを感じ続けていました。仕事でも、順序立てて報告をしたり、文章にして書くことに苦手意識がありました。

この事業に参加して、教科書の内容だけではなく、実際に職場でどんな言葉を使えばいいかなど、自分に合わせた勉強ができ、足場がしっかりできた感じがします。

自分を追い詰めるような状況があるのであれば、学校に行かなくてもいいと思います。学ぶことは大切。大人になっても学びたいときに学べるよう、機会が増えるといいと思っています。

発行 (公財)せんだい男女共同参画財団

〒980-6128 宮城県仙台市青葉区中央1-3-1 アエルビル29階

TEL 022-212-1627 FAX 022-212-1628 WEB <https://www.sendai-l.jp/>

(2020.2)

令和元年度 文部科学省「男女共同参画推進のための学び・キャリア形成支援事業」実証事業